



決算説明会 -2007年3月期-

2007年4月26日

日本電産株式会社

(証券コード:6594)

<http://www.nidec.co.jp>

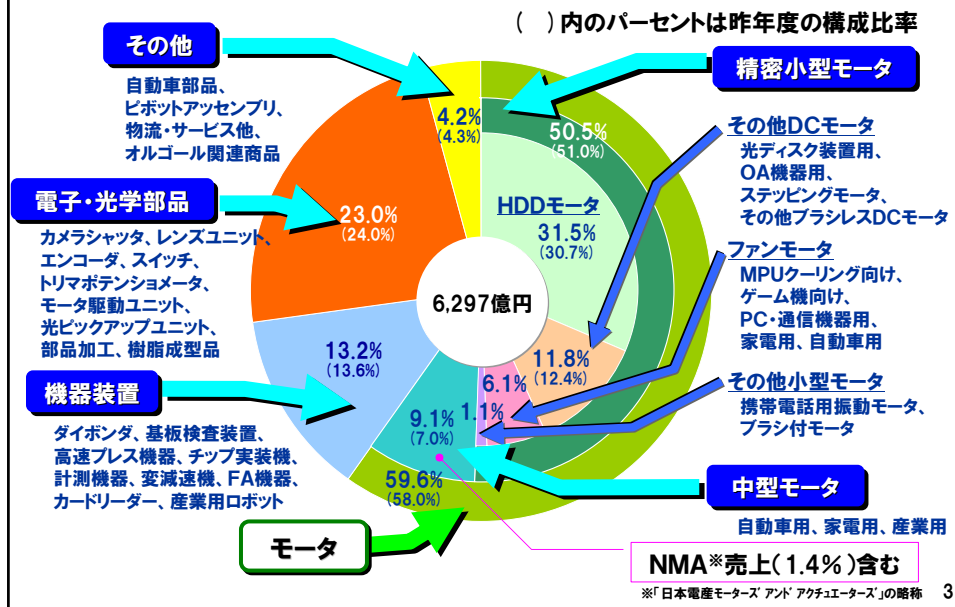
— 注意事項 —

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見直し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。

2006年度連結決算のポイント

- ▼ 5つの事業区分すべてが前年比増収となり、**売上高は前年比17.3%増で過去最高を更新**
- ▼ 精密小型モータや機器装置の増益に加え、**中型モータの収益改善が寄与し、営業利益は前年比19.8%増益と過去最高を更新**
- ▼ 営業外収益(主に為替差益)の減少により**税引前利益は前年比微増にとどまり、移転価格税制による追徴課税の影響(29億円)により当期利益は前年比2.5%減益**
- ▼ 期末配当金は25円(一株当り)で、**年間配当金は前年比38.5%増配の45円、連結配当性向は16.3%**

事業区分別の売上構成



3

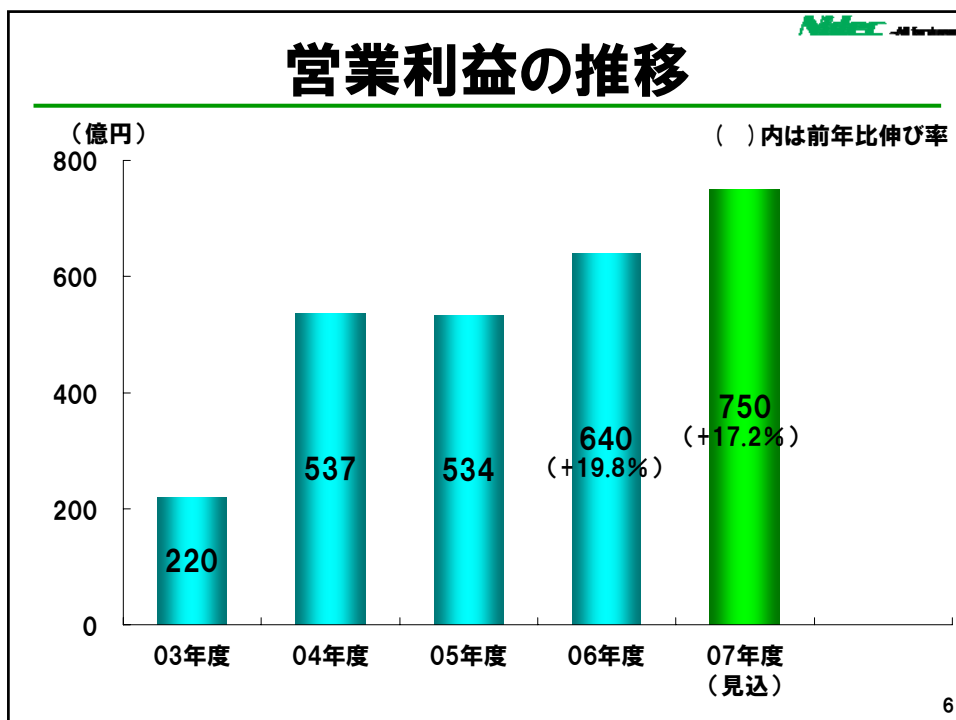
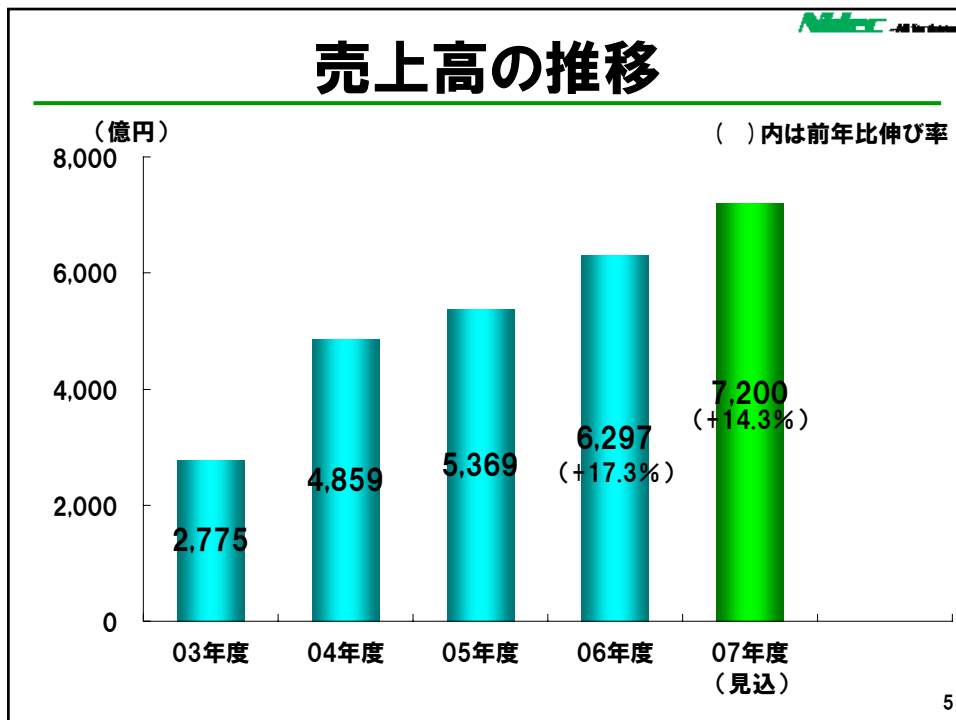
連結決算業績

(億円)	05年度実績	06年度実績	前年比	07年度見込
売上高	5,368	6,297	+17.3%	7,200
営業利益	534	640	+19.8%	750
利益率	10.0%	10.2%		10.4%
税引前利益	643	※1 656	+1.9%	750
当期利益	409	※2 399	-2.5%	450
一株利益(円)	285.47	276.03	-3.3%	310.91
対米ドル為替レート				
平均...	113.31円	117.02円	+3.3%	
期末...	117.47円	118.05円	+0.5%	

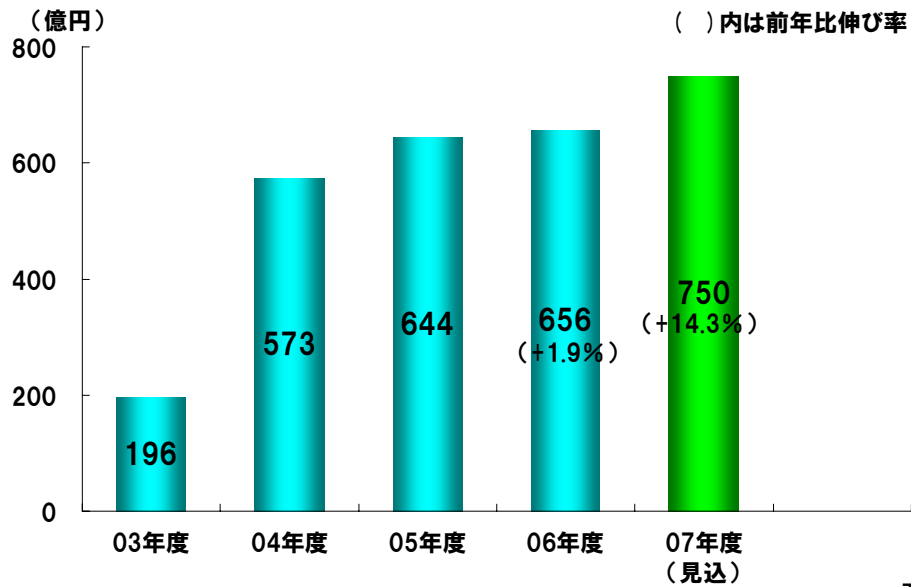
※1: 為替変動による影響額(前年比): 約-61億円

※2: 移転価格税制による追徴課税額: 約-29億円

4

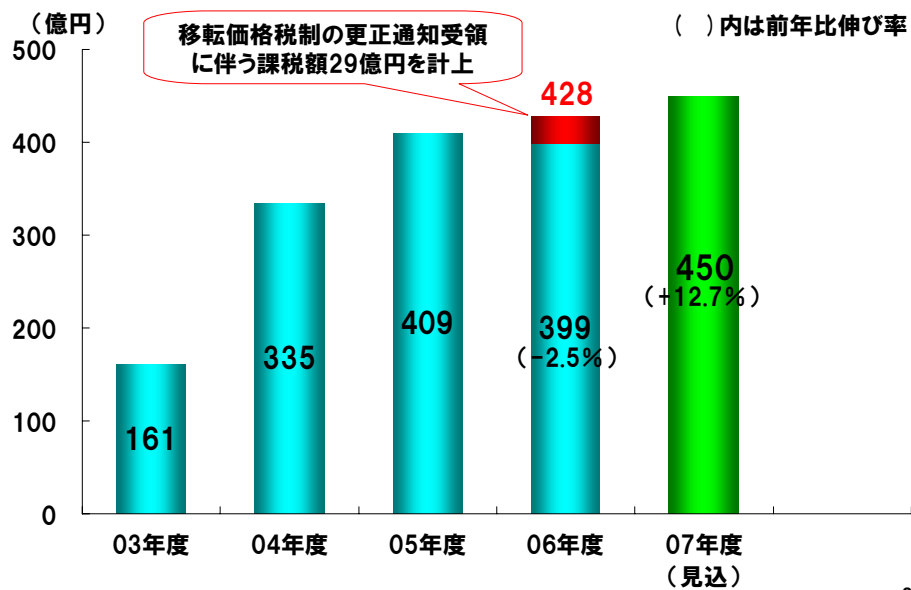


税引前利益の推移



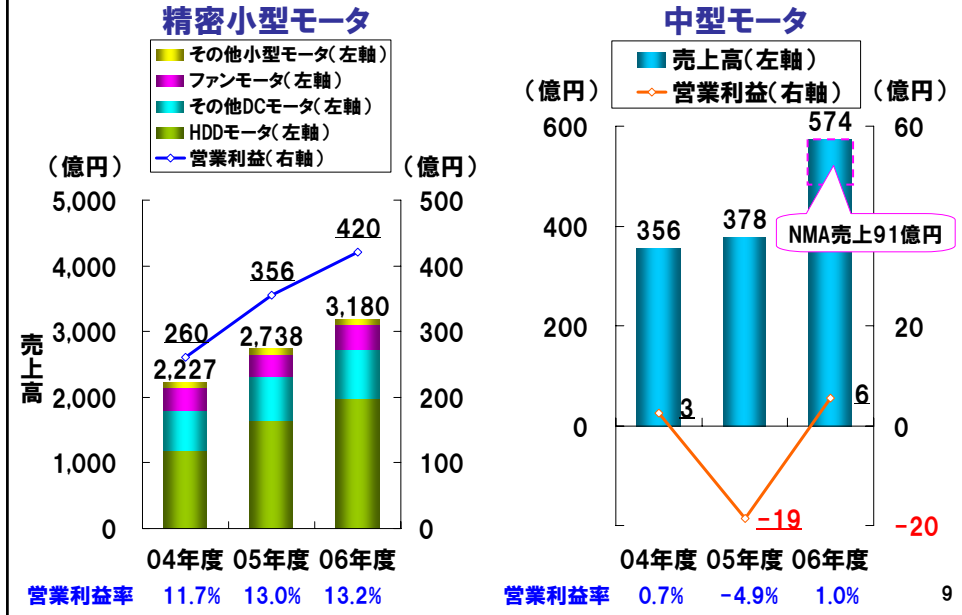
7

当期利益の推移

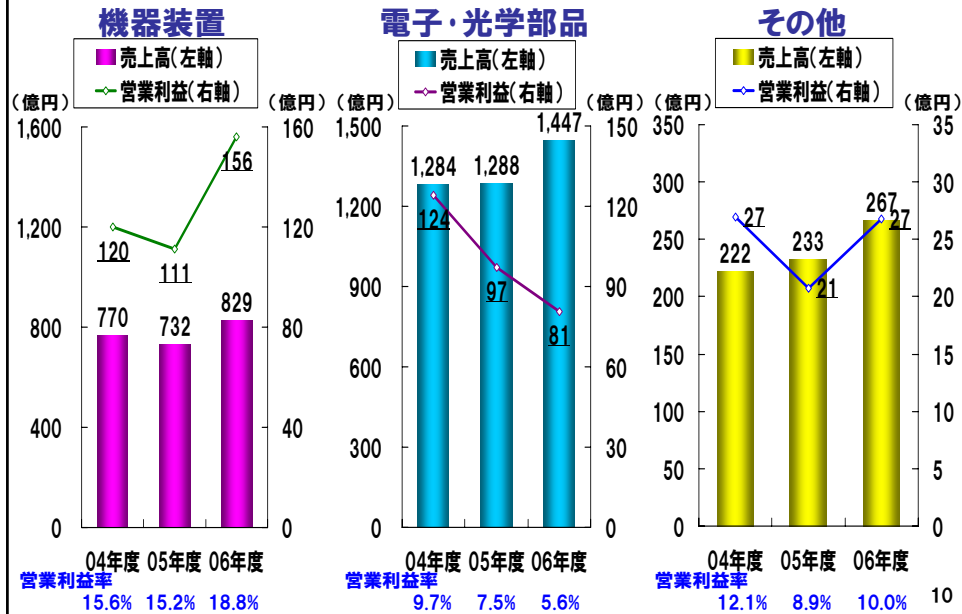


8

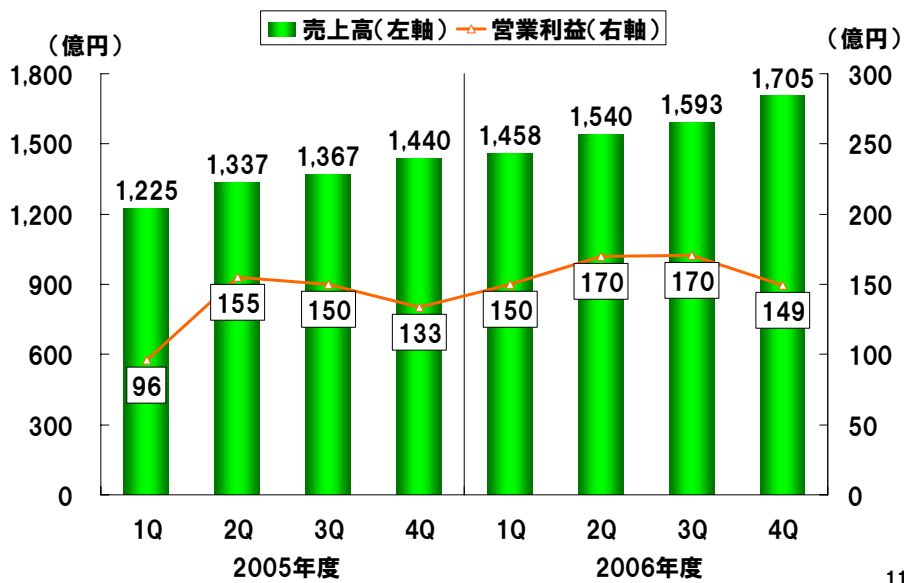
事業区分別業績 <精密小型モータ、中型モータ>



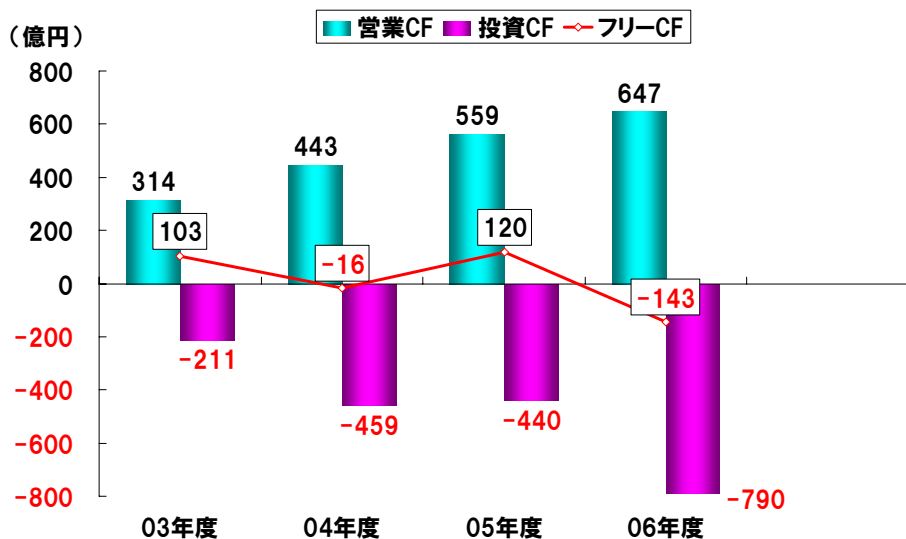
事業区分別業績 <機器装置、電子・光学部品、その他>



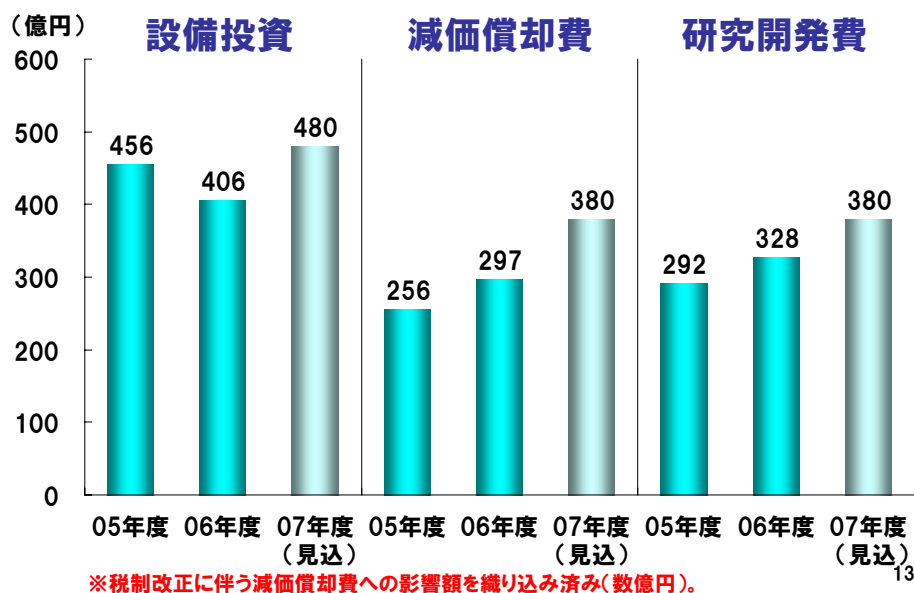
四半期別の業績推移



連結キャッシュフローの推移



設備投資、減価償却費、研究開発費

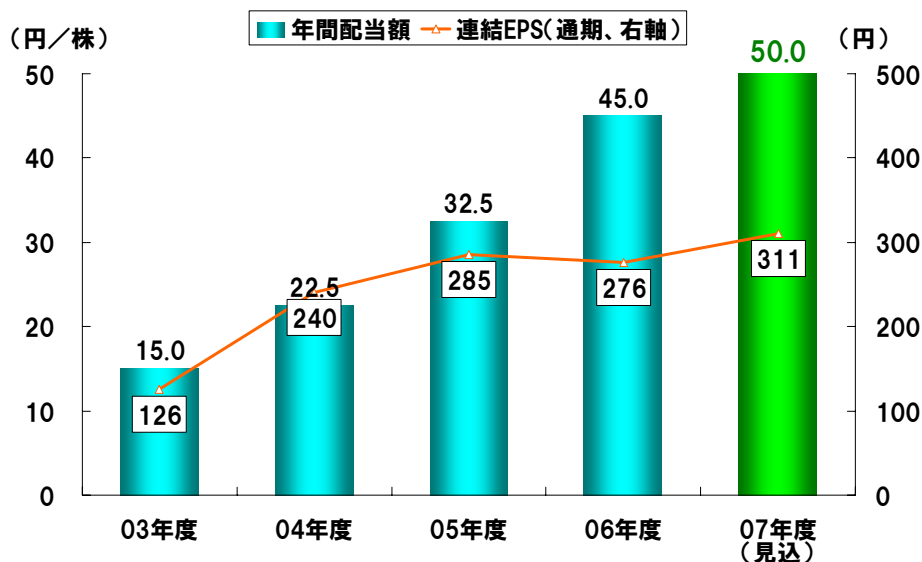


業績見通し

(単位:億円)	上期	下期	通期
売上高	3,400	3,800	7,200
営業利益	320	430	750
利益率	9.4%	11.3%	10.4%
税引前利益	320	430	750
当期利益	200	250	450
一株利益(円)	138.18	172.73	310.91
為替レート(円/USD)	115.00	115.00	115.00

※税制改正に伴う影響額を織り込み済み(営業利益ベースで数億円)。

配当金の推移



※2005年11月に1対2の株式分割を実施しており、2005年度中間以前の数字は分割後の株数ベースで遡及修正しています。

15

<参考> 上場グループ企業の業績見込み

(百万円)	連結売上高			連結営業利益			連結当期利益		
	05年度 実績	06年度 実績	07年度 見込	05年度 実績	06年度 実績	07年度 見込	05年度 実績	06年度 実績	07年度 見込
日本電産 サンキョー	121,994	112,628	105,000	12,151	9,439	8,000	12,672	10,287	6,000
日本電産 コバル	63,094	84,012	86,000	5,006	5,827	6,500	2,660	4,304	4,000
日本電産 トーンク	26,518	23,430	22,500	1,905	1,809	1,800	1,095	1,182	950
日本電産 コバル電子	22,599	26,759	32,000	3,628	3,473	3,800	2,560	2,280	2,300
日本電産 リード	6,181	7,716	8,300	984	1,549	1,650	628	938	1,000
上場5社 合計	240,386	254,545	253,800	23,674	22,097	21,750	19,615	18,991	14,250

※上記は国内会計基準に基づいて発表された業績数値です。

16

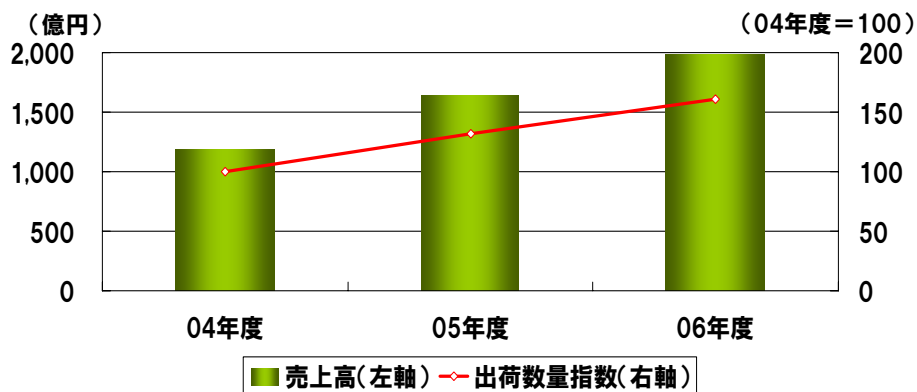
事業区別の状況

精密小型モータ
 HDDモータ
 その他DCモータ
 ファンモータ
 中型モータ
 機器装置
 電子・光学部品
 その他

HDDモータ: 2006年度実績

過去最高の売上実績、出荷数量を達成

- ）シェア上昇と2.5インチ市場拡大により前年比20%増収
- ）出荷数量も前年比22%増

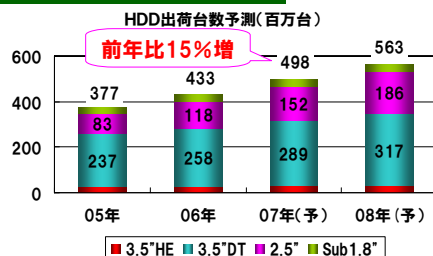


HDDモータ: 今期の戦略①

高シェア維持による安定売上成長の確保

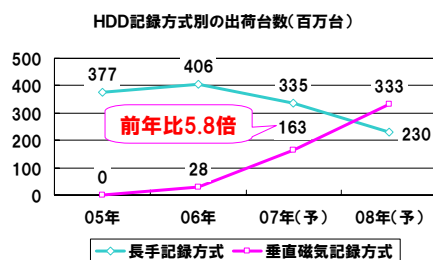
✓ PC・民生用需要増大による市場拡大

- 3.5"は前年比2桁増加
- 2.5"は同3割増加



✓ 垂直磁気記録方式採用の急拡大

- 新製品立ち上げへの先行対応(設備 & 品質)
- 新・長野技術開発センターによる開発体制の強化



(Source: TSR, 2007)

19

HDDモータ: 今期の戦略②

付加価値(収益)拡大への体制強化

✓ 部品内製能力の強化

- Brilliant社からのHDDベース供給体制の確立
- 部品内製工場(NPT-2)の稼働準備



NPT-2: タイ日本電産精密 第二工場<仮称>

2007年8月末(竣工予定)



✓ 差別化戦略の推進

- 独自技術(焼結軸受、自動化ライン)の投入
- 特許活用による技術・製品競争力の確保

焼結含油軸受



自動機導入ライン

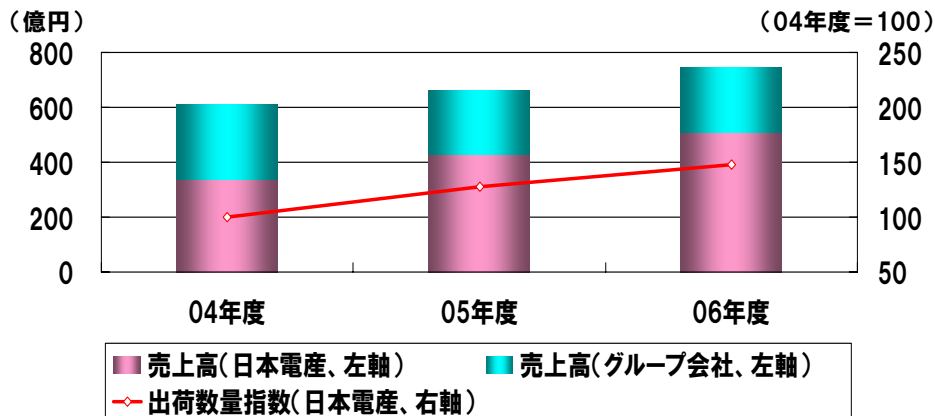


20

その他DCモータ:2006年度実績

過去最高の売上実績、出荷数量を達成

- 主力の光ディスク装置用は前年比2桁増収を継続
- OA機器用や標準機種も前年比4割増

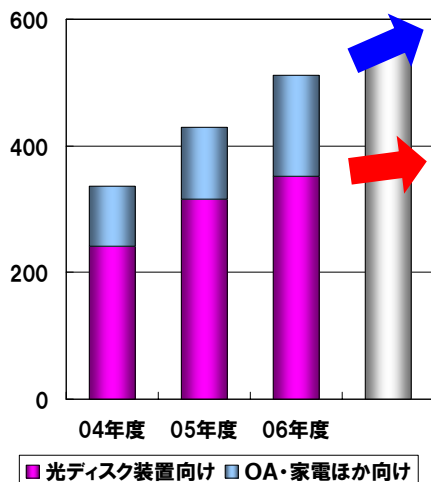


21

その他DCモータ:今期の戦略

新市場、新顧客開拓を強力推進

日本電産のDCモータ売上高(億円)



OA機器、高級家電向けモータの拡販

標準モータの強力拡販

- 販売チャネルの拡大



光ディスク市場での高シェア確保

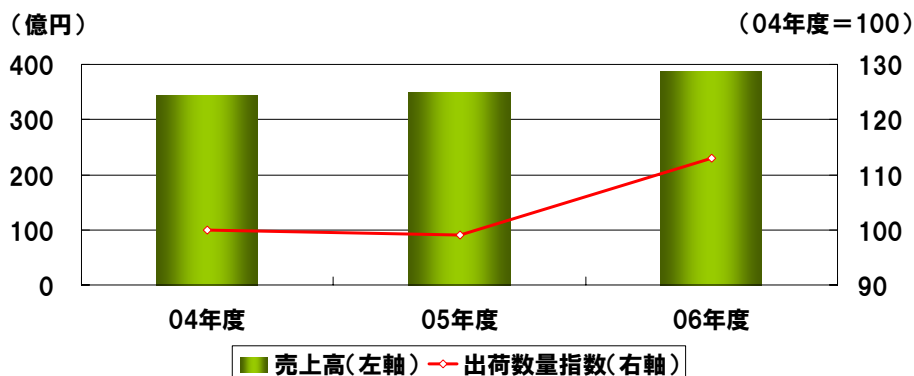
- 次世代光ディスク
- 薄型(スリム)装置

22

ファンモータ:2006年度実績

▽ 過去最高の売上実績、出荷数量を達成

- 数量・金額ベースとも10%超の増加率
- 海外客先向け、ゲーム機向けが拡大

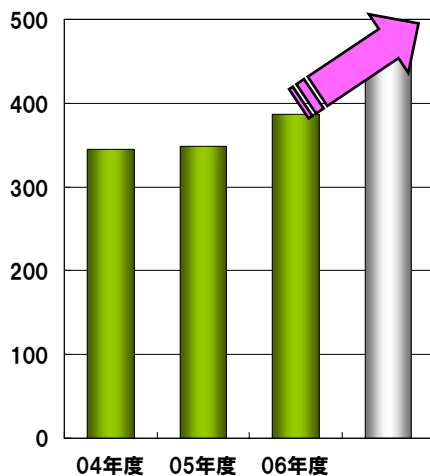


23

ファンモータ:今期の戦略

新市場、新顧客開拓を強力推進

ファンモータの売上高(億円)



▽ 新標準設計機種(23機種)

UltraFlo

を全世界に向け拡販

- 北米、台湾オフショア市場
- PC、通信機器、車載向け

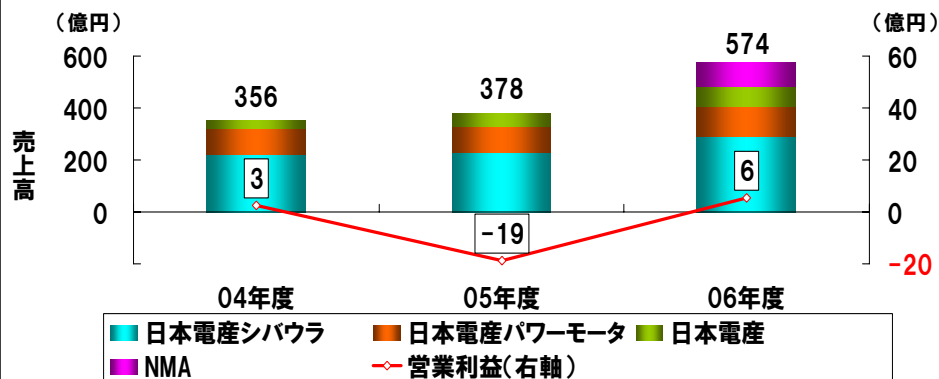


24

中型モータ:2006年度実績

売上拡大、原価改善の進展で黒字転化

- 家電・産業用は前年比20%超の増収、車載用も前年比66%増
- 4QよりNMAを連結し売上計上



25

中型モータ:今期の戦略

NMAの本格稼働開始

- 生産拠点の再編、新設、拡張強化
- 開発・生産リソースの相互活用推進



NMAポーランド工場

日本電産シバウラ、日本電産パワーモータの収益改善

- 家電モータ市場拡大に伴う数量増
- 技術革新による新製品投入
- マネジメント強化で更なる利益改善を推進



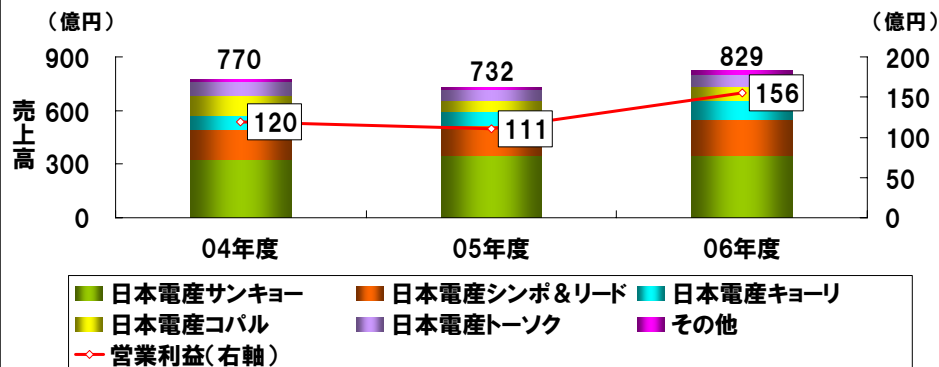
高級家電用モータ

26

機器装置：2006年度実績

✓ 売上高、営業利益とも過去最高を更新

- ）設備投資関連需要好調で前年比2桁増収
- ）営業利益は前年比40%超の大幅増益



27

機器装置：今期の戦略

✓ 産業用ロボットの新品・新市場開拓

- ）第10世代液晶ガラス搬送ロボットの先行投入
- ）半導体ウェハ搬送用ロボットの量産拡大

✓ FA需要拡大への対応

- ）日本電産シンポの減速機
- ）日本電産キョーリ的高速プレス機



第10世代
液晶ガラス基板搬送ロボット



減速機



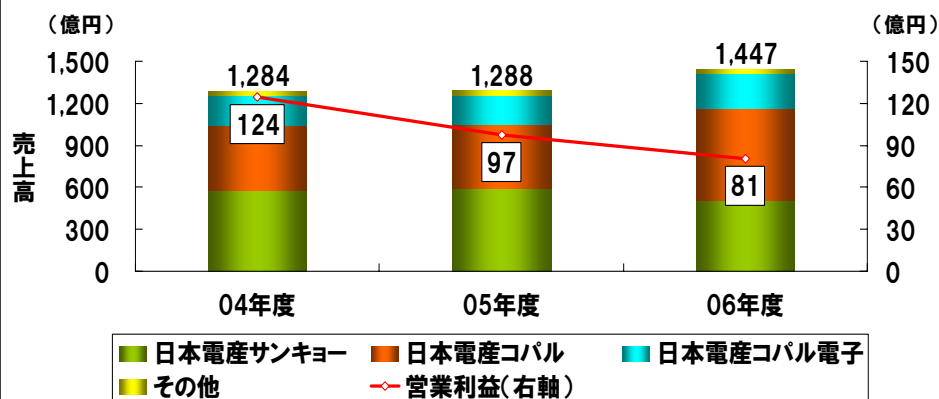
高速プレス機

28

電子・光学部品：2006年度実績

過去最高の売上高を記録、営業利益は回復遅延

- デジカメ需要好調による光学部品・外装品が大幅増収
- 納入優先による原価改善の遅延

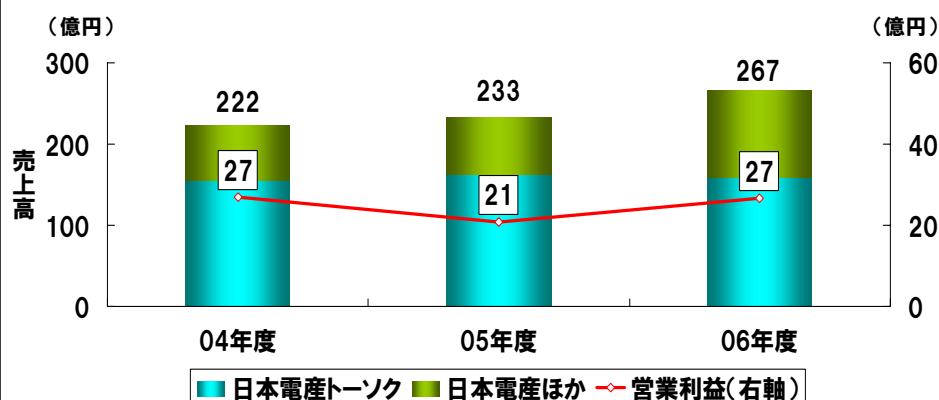


29

その他：2006年度実績

売上高が過去最高を更新

- HDD用ピボットアッセンブリが前年比1.6倍の大幅増収
- 営業利益率は2桁へ改善



30

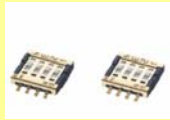
電子・光学部品、その他：今後の戦略

電子・光学部品

- ✓ 光学部品の生産拡大と収益改善スピードアップ
 - ） DSC用／携帯電話用のシャッター、レンズユニット
- ✓ 産業用電子部品(スイッチ)の世界シェア拡大
 - ） フジソクとの生産・販売シナジーの強化



DSC用レンズユニット



産業用スイッチ

その他

- ✓ 自動車部品の収益改善対応
 - ） CVT用コントロールバルブを軸にベトナム生産の強化・拡大
- ✓ HDD用ピボットアッセンブリの量産拡大
 - ） 3.5”、2.5”の市場拡大に対応



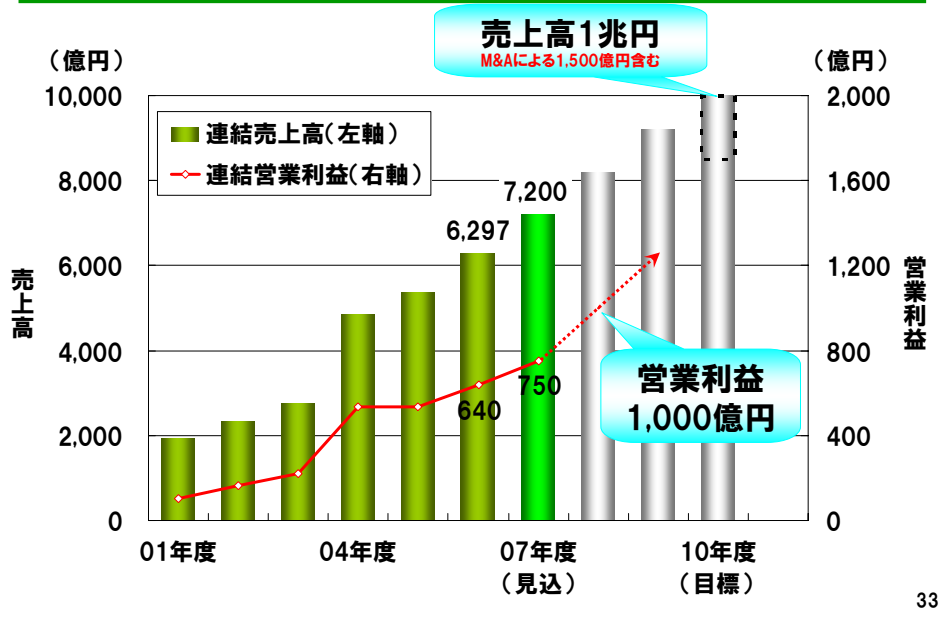
CVT用コントロールバルブ



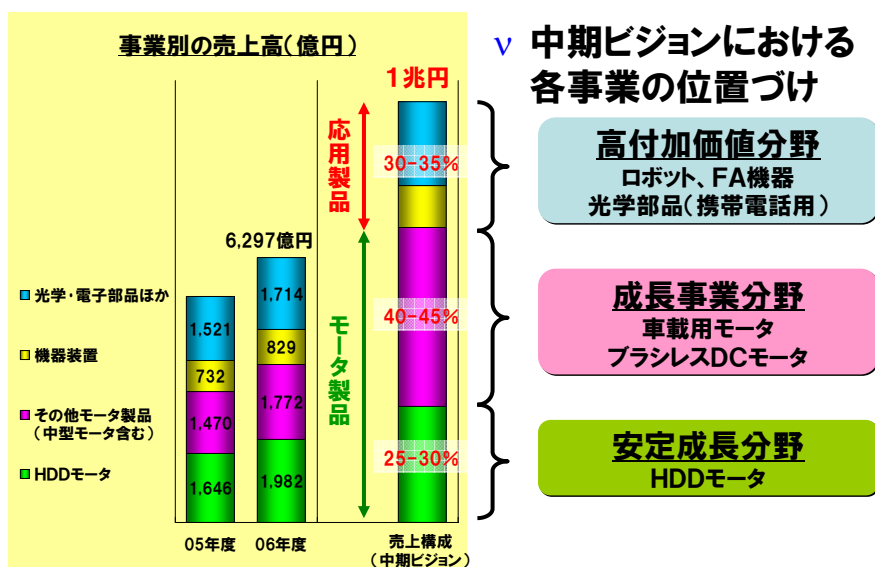
HDDピボットアッセンブリ

中期経営目標

中期経営目標



事業別の中期ビジョン



事業別の重点施策

高収益の製品・市場開拓

高付加価値分野

ロボット、FA機器
光学部品(携帯電話用)

高収益・高付加価値の製品
および市場開拓

M & A活用
(対象分野)

競合会社
部品内製化

成長ドライバー(売上、利益)

成長事業分野

車載用モータ
ブラシレスDCモータ製品

車載用モータ事業の強化
標準品ラインナップ強化と開発、
生産の効率改善

車載モータ事業
制御システム技術
競合会社

年率10%超成長持続、利益率向上

安定成長分野



HDDモータ

部品内製化の促進
独自技術/特許による差別化

部品内製化
生産技術



直近のM & A案件

フジノク、Valeo Motors & Actuators

	フジノク	Valeo Motors & Actuators (現:日本電産モーターズ・アンド・アクチュエーターズ)
買収日	2006年11月8日	2006年12月27日
買収金額	約9億円	142百万ユーロ(約220億円)
所有比率	98.8%	100%
連結業績 (決算期)	売上高 71億円 営業利益 4億円 (2006年3月期)	売上高 253百万ユーロ(約390億円) 営業利益 9百万円ユーロ(約14億円*) (2005年12月期)
従業員数	212名	約1,700名
事業・製品	スイッチ、メモリーカード、パネルスイッチ、計測器 	エアフローシステム、座席ホジショニングシステム、ホディ・クロージャー・システム、ブレーキシステム、ドライブライン及びステアリングシステム 
主要生産拠点	日本(那須、館山)	ドイツ、ポーランド、スペイン、メキシコ
備考	親会社は日本電産コバル電子	※特別項目控除前。控除後では-4百万ユーロ(約-6億円)

37

Brilliant Manufacturing、日本サーボ

	Brilliant Manufacturing	日本サーボ
買収日	2007年2月23日	2007年4月27日(予定)
買収金額	約170百万ドル(約134億円)	約47億円
所有比率	87%	51.0%
連結業績 (決算期)	売上高 131百万ドル(約103億円) 営業利益 2百万ドル(約1億円) (2006年9月期)	売上高 286億円 営業利益 -7億円 (2006年3月期)
従業員数	2,950名	約4,250名
事業・製品	HDD用ベースプレート、ブラケット、トップカバー 	モータ(ブラシレス、ACサーボ、ステップング)、モータ応用製品(センサ) 
主要生産拠点	シンガポール、インドネシア、タイ、中国	国内(桐生、埼玉)、シンガポール、インドネシア、中国
備考	シンガポール証券取引所上場	東京証券取引所第2部上場

38



お問い合わせ先

日本電産株式会社 IR部
<TEL> 075-935-6140
<E-mail> ir@nidec.co.jp

**お持ちのパソコン、携帯電話にIR情報を配信しています
詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください**

<http://www.nidec.co.jp/>